

# 平成 29 年度冬作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 29 年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 30 年 9 月 13 日(木)にホテルラングウッドにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 32 名、委託関係者 37 名ほか、計 87 名の参集を得て、除草剤 17 薬剤(89 点)、生

育調節剤 1 薬剤(3 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

## 平成 29 年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験 判定

### A. 除草剤 (1)小麦

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準						継続の内容	
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1. AH-01 液 グルホシネートPナトリウム塩 11.5%  [北興化学工業 *Meiji Seika ファルマ]	実・継 (従来どおり)	一年生雑草	茎葉処理 (圃場内周縁部)	小麦生育期・雑草生育期(草丈30cm以下)	300~500mL 散布水量 100L	全土壌	北海道	・周辺作物に飛散しないように注意する。	・効果、薬害の確認(耕起または播種前)
2. DPX-16顆粒水和チフェンスルフロンメチル 75% [デュボン・プロダクション・アグリサイエンス]	実・継 (従来どおり)	一年生広葉雑草, スズメノテッポウ	土壌処理(全面)または茎葉兼土壌処理(全面)	播種後～節間伸長前 スズメノテッポウ 5葉期まで	5~10g 散布水量 50~100L (播種後～小麦2葉期処理は水量 100L, 10gの小麦3葉期以降の処理は水量25~100L)	全土壌(砂土を除く)	東北~四国	・単用での茎葉処理の場合は7.5~10g/10aでの使用が望ましい ・少量散布(25L/10a)の場合は専用ノズルを使用する。 ・播種後処理の場合はヤムグラに効果が劣る。 ・処理後散布器具をよく洗浄する。	・散布水量の拡大
				小麦1葉～節間伸長前 スズメノテッポウ 5葉期まで			九州		
				幼穂形成期	7.5~10g 散布水量 100L		北海道		
		一年生広葉雑草	茎葉処理(全面)	節間伸長開始期～穂ばらみ期, 雑草4葉期まで	3~5g 散布水量 100L		東北以南		
カズノコグサ		小麦1葉～節間伸長前 カズノコグサ 1~3葉期	10g 散布水量 100L		九州	・土壌処理剤との体系処理で使用する			
ギンギン類		小麦幼穂形成期, ギンギン生育期	3~5g 散布水量 100L		北海道	・効果の完成に時間が掛かる場合がある			
3. HSW-062 フロアブルインダノファン:10.0% ジフルフェニカン:4.0%  [ホクサン]	実・継 (従来どおり)	一年生雑草, (イヌカミツレを含む)	土壌	播種後出芽前, 雑草発生前	150~250mL 散布水量 70~100L	全土壌(砂土を除く)	北海道	・葉に白斑を生じる場合がある ・イヌカミツレが多発する圃場では高薬量で使用する	・小麦3~6葉期処理での効果・薬害の確認(北海道)
			茎葉兼土壌	出芽直前～小麦3葉期, 雑草発生前	100~200mL 散布水量 70~100L				
4. JAC-01 液 ペンタザンナトリウム塩:40.0%  [日本アグロサービス]	継								・効果、薬害の確認

A. 除草剤 (1)小麦

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
5. KUH-165 フロアブル ジフルフェニカン:7.4% ピロキサスルホン:7.4% [クマイ化学工業]	継								・効果, 薬害の確認 (播種後出芽前, 出芽揃期, 小麦1~3葉期)
6. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学]	実	一年生雑草	茎葉処理 (全面)	耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	200~500mL 散布水量 5~6L, 25~100L	全土壌	全域	・散布水量5~6L/10a, 25~50L/10aの場合は専用ノズルを使用する。 ・周辺作物に飛散しないように注意する。	
				播種後出芽前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	200~500mL 散布水量 25~100L				
					200~500mL 散布水量 5~6L				
		多年生イネ科雑草(シバムギ, レッドトップ)	茎葉処理 (全面)	小麦生育期 雑草生育期 (草丈30cm以下)	200~500mL 散布水量 25~100L	全土壌	東北以南		
					200~500mL 散布水量 5~6L		全域		
		耕起前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	200~500mL 散布水量 25~100L		北海道				
7. NH-009 液 グルホシネート:18.5% [日本農薬]	実・継	一年生雑草	茎葉処理 (全面)	耕起または播種前 雑草生育期 (草丈10cm以下)	300~750mL 散布水量 100~150L	全土壌	東北以南	・周辺作物に飛散しないように注意する。	・薬量500~750mL/10aでの効果, 薬害の確認(播種後出芽前)
	播種後出芽前 雑草生育期 (草丈10cm以下)			300mL 散布水量 100~150L					
	茎葉処理 (圃場内周縁部)			小麦生育期 雑草生育期 (草丈20cm以下)	300~750mL 散布水量 100~150L				
8. ZH-1402 フロアブル 新規化合物A:30% [全国農業協同組合連合会]	継								・効果, 薬害の確認 (播種後出芽前, 小麦1~3葉処理)
9. トリフルラリン乳 トリフルラリン 44.5% [日産化学]	実・継	一年生雑草(ツユクサ科, カヤツリグサ科, キク, アブラナ科雑草を除く)	土壌処理 (全面)	播種後出芽前, 雑草発生前	200~300mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	全域	・小麦生育期処理は, 播種後の土壌処理剤との体系で使用する。	・カズノグサに対する効果の変動要因の確認
		一年生イネ科雑草		播種後~小麦3葉期, イネ科雑草1葉期まで			北海道		
		一年生イネ科雑草, カズノグサ		小麦生育期, 雑草発生前			全域		

A. 除草剤 (2)大麦

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1. JAC-01 液 ペンタゾンナトリウム塩: 40.0% [日本アグロサービス]	継								・効果、葉害の確認 (大麦生育期、広葉 雑草3～6葉)
2. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学]	実	一年生雑 草	茎葉処理 (全面)	耕起または 播種前 雑草生育期 (草丈30cm以 下)	200～500mL 散布水量 25～100L	全土壌	全域	・散布水量5～ 6L/10a, 25～ 50L/10aの場合は 専用ノズルを使用 する。 ・周辺作物に飛散し ないように注意す る。	
					200～500mL 散布水量 5～6L				
			播種後出芽 前 雑草生育期 (草丈30cm以 下)	200～500mL 散布水量 5～6L, 25～100L					
			茎葉処理 (圃場内 周縁部)	大麦生育期 雑草生育期 (草丈30cm以 下)					
3. NH-009 液 グルホシネート:18.5% [日本農薬]	実・継	一年生雑 草	茎葉処理 (全面)	耕起または 播種前 雑草生育期 (草丈20cm以 下)	300～750mL 散布水量 100～150L	全土壌	全域	・周辺作物に飛散し ないように注意す る。	・薬量500～ 750mL/10aでの効 果葉害の確認(播種 後出芽前)
				播種後出芽 前 雑草生育期 (草丈10cm以 下)	300mL 散布水量 100～150L				
			茎葉処理 (圃場内 周縁部)	大麦生育期 雑草生育期 (草丈30cm以 下)	300～750mL 散布水量 100～150L				
4. ZH-1402 フロアブル 新規化合物A:30% [全国農業協同組合連 合会]	継								・効果、葉害の確認 (播種後出芽前, 大 麦1～3葉)

A. 除草剤 (3)いぐさ

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1. NC-360 フロアブル キザロホップエチル 7% [日産化学]	実 (従来 どおり)	一年生イネ 科雑草	茎葉処理 (落水, 全 面)	いぐさ生育 期, イネ科雑 草3～8葉期	200～300mL 散布水量 100L	全土壌	全域	・スズメノカタビラに は効果劣る	

A. 除草剤 (4)水稲刈跡

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1. DBN4.5 粒 DBN:4.5% [アグロカネショウ]	実	一年生雑 草	土壌処理 (全面)	水稲刈取り 後30日まで, 雑草生育期	3kg/10a	全土壌	東北以南		

A. 除草剤 (4)水稲刈跡

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準						継続の内容	
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
2.JC-401 粒 (旧NHS-50) 塩素酸ナトリウム:50% [日本カーリット]	実・継	一年生雑草, 多年生イネ科雑草, マツバイ	土壌処理 (全面)	水稲刈取後 雑草生育期	20~ 25kg/10a	全土壌	東北以南		・多年生イネ科雑草 に対する薬量と効果の 確認
		オモダカ (翌年発生 低減効果)		水稲刈取後 10日以内, 雑草生育期	30~ 40kg/10a				
		セリ (翌年発生 低減効果)		水稲刈取30 日後以降, 雑草生育期	20~ 40kg/10a				

A. 除草剤 (5)水田畦畔

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準						継続の内容	
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1.DBN 4.5 粒 DBN:4.5% [アグロ カネショウ]	実	一年生雑草, 多年生 広葉雑草 (マメ科雑草を除く), スギナ	土壌処理 (全面)	秋冬期~春 期(雑草発生 前~始期)	6~8kg /10a	全土壌	東北以南		
		一年生雑草, 多年生 広葉雑草 (マメ科雑草を除く), スギナ (翌春まで の発生抑制)		秋冬期(雑草 発生前~始 期)	12~15kg /10a				

B. 生育調節剤 (1)大麦

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用規準						継続の内容	
		対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1. エテホン 液 エテホン:10% [2, 4-D協議会]	実・継 (従来 どおり)	二条大麦 対象 ・節間伸長 抑制による 倒伏軽減	茎葉処理 (全面)	出穂始期	300~500倍 散布水量 50~100L	全土壌	東北以南		・処理時期, 散布方 法についての確認 ・止葉期における薬 量300~500倍< 100L>/10aでの効 果・葉害の確認